

(付) 参考資料 さんこうしりょう

年表 山東町のうつりかわり

年表

おもなできごと

一八六八 (明治 元年)

・久美浜県くみはまに入る。

一八六九 (明治 二年)

・久美浜県から分かれて生野県に入る。

一八七〇 (明治 三年)

・すべての人に苗字ななづかをつけるよう太政官たじょうかん布告が出る。義務は明治八年。

一八七二 (明治 四年)

・新聞出始める。(横浜毎日)  
 ・廃藩置県はいはんちけん。  
 ・断髮令だんぱつれいでる。

一八七二 (明治 五年)

・生野県なくなり、豊岡県に入る。  
 ・太陰暦を太陽暦にする。

一八七三（明治 六年）

・町内数か所に小学校がつくられる。

・徴兵制ちようへい布告される。

一八七四（明治 七年）

・矢名瀬郵便局ができ、集配事務を開始する。

一八七六（明治 九年）

・廃刀令はいとうれいでる。

・豊岡県がなくなり、兵庫県に入る。

一八八二（明治一五年）

・日下製糸場が西谷につくられる。

一八八八（明治二二年）

・梁瀬巡查派出所ができる。

一八八九（明治二三年）

・市町村制が施行され、与布土村、梁瀬村、粟鹿村となる。

・矢名瀬郵便局が梁瀬郵便局と名前が変わる。

一八九〇（明治二三年）

・日下製糸、楽音寺に移転する。

一八九四（明治二七年）

・日清戦争が始まる。

・柗木・梁瀬銀行ができる。

一九〇四（明治二七年）

・日露戦争にちろが始まる。

一九〇六（明治二九年）

・播但線が開通し、竹田駅・和田山駅ができる。

- 一九〇八（明治四一年）
- 一九一一（明治四四年）
- 一九一四（大正三年）
- 一九一六（大正五年）
- 一九一七（大正六年）
- 一九一九（大正八年）
- 一九二〇（大正九年）
- 一九二四（大正一三年）
- 一九二五（大正一四年）
- 一九二六（大正一五年）
- 一九三一（昭和六年）
- 一九三四（昭和九年）

- ・ 梁瀬郵便電信局となり、電報を扱う。
- ・ 和田山・福知山間に鉄道が開通し、梁瀬駅ができる。
- ・ 第一次世界大戦が始まる。
- ・ 梁瀬にはじめて電灯でんとうがともる。
- ・ 日下製糸を郡是ぐんせいがゆずりうけて、郡是製糸梁瀬工場が仕事を始める。
- ・ 梁瀬郵便局に公衆電話ができる。
- ・ 粟鹿村に電灯がともる。（古老に聞く）
- ・ 与布土村に電灯がともる。
- ・ 北但に大震災しんさいが起きる。
- ・ 梁瀬村、町制を施行し、梁瀬町となる。
- ・ 満州事変起こる。
- ・ 郵便取扱所が柞木にできる。
- ・ 室戸台風むろとで大きなひがいを受ける。

- 
- 一九四〇（昭和十五年）
  - 一九四一（昭和一六年）
  - 一九四四（昭和一九年）
  - 一九四五（昭和二〇年）
  - 一九四六（昭和二十一年）
  - 一九四七（昭和二十二年）
  - 一九四八（昭和二十三年）
  - 一九五一（昭和二六年）
  - 一九五二（昭和二七年）
- 

- ・ 終木郵便取扱所が与布土郵便局と名前が変わる。
  - ・ 第二次世界大戦が始まる。
  - ・ 神戸市入江小学校より山東町に「学童そかい」くる。
  - ・ 広島、長崎に原子爆弾投下さる。
  - ・ 第二次世界大戦が終わる。
  - ・ 農地改革が始まる。
  - ・ 新憲法ができる。
  - ・ 九か年の義務教育が定められ、小学校（六年）中学校（三年）が義務教育となり、小学校は、梁瀬・粟鹿・与布土、中学校は梁瀬となる。
  - ・ 新制高等学校が発足する。
  - ・ 梁瀬被服工場ひふくができる。
  - ・ 教育委員会が発足する。
  - ・ 川原町に映画館ができる。
-

一九五四（昭和二九年）

・日米講和条約が結ばれる。

・梁瀬町、粟鹿村、与布土村がいつしよになり、新しい山東町となる。山東町章が定められる。

一九五五（昭和三十年）

・国道九号線矢名瀬地区改修に入る。

・山東町合併祝賀会があり、役場庁舎が完成する。

・奥山にさくら二百本が植えられる。

一九五六（昭和三一年）

・国道九号線改修第三期目工事に入る。

・与布土小学校完全給食始まる。

・第一回山東町文化祭が開かれる。

一九五七（昭和三二年）

・中学校体育館ができる。

・県道山東・柏原線遠阪峠改修にとりかかる。

・中学校完全給食始まる。

・比叡、野間、与布土に簡易水道ができる。

一九五八（昭和三三年）

・粟鹿山周辺を含む朝来群山が自然公園として県指定となる。

---

一九五九（昭和三四年）

一九六〇（昭和三五年）

一九六一（昭和三六年）

一九六二（昭和三七年）

一九六四（昭和三九年）

一九六五（昭和四十年）

---

・ 迫間、柴に簡易水道ができる。

・ 梁瀬小学校完全給食始まる。

・ 伊勢湾台風で大きな被害を受ける。

・ 西谷簡易水道ができる。

・ 三保に大火が発生し、七戸が全焼する。

・ 国道九号線和田山・山東間開通する。

・ 粟鹿簡易水道ができる。

・ 山東有線放送が始まる。

・ 公立豊岡病院組合立梁瀬病院ができる。

・ 県道山東・柏原線矢名瀬バイパスが完成する。

・ 国道九号線磯部地区の改修が始まる。

・ オリンピック東京大会聖火リレーが町内を通過する。

・ 滝田簡易水道ができる。

・ 台風二三号で大きな被害を受ける。

---

一九六七（昭和四二年）

- ・「夜久野高原」が兵庫県観光百選に選ばれる。
- ・役場庁舎前に青年の家が完成する。

- ・町の木「もくせい」に決定し、「花と緑の町」に指定される。

一九六八（昭和四三年）

- ・梁瀬小学校磯部分校が閉校する。

- ・梁瀬郵便局が新しく建てかえられる。

一九六九（昭和四四年）

- ・県立緑化センターが野間にできる。

- ・県道山東・柏原線の改修工事が完了する。

一九七〇（昭和四五年）

- ・県道大江・山東線の工事が始まる。

一九七一（昭和四六年）

- ・与布土生活改善センターができる。

- ・町営上水道が大垣にできる。

- ・磯部生活改善センターができる。

一九七二（昭和四七年）

- ・中央公民館ができる。

一九七三（昭和四八年）

- ・山東電話局ができ、電話が自動化になる。

一九七四（昭和四九年）

- ・勤労青少年体育館ができる。

一九七六（昭和五一年）

一九七七（昭和五二年）

一九八〇（昭和五五年）

一九八一（昭和五六年）

一九八二（昭和五七年）

一九八三（昭和五八年）

- ・遠阪トンネル工事が始まる。
- ・粗大ゴミ処理施設が迫間にできる。
- ・朝来郡広域消防本部が和田山にできる。
- ・遠阪トンネルが開通する。
- ・農村広場が粟鹿に完成する。
- ・梁瀬駅が無人化となり、民間委託いたくによる乗車券販売となる。
- ・梁瀬駅陸橋が完成する。
- ・第一回山東オリンピック大会が開かれる。
- ・第一回兵庫・山東ロードレース大会が開かれる。
- ・青年の山バンガローが完成する。
- ・ほ場整備が全町の九五パーセント以上完了する。
- ・山東町文化協会ができる。
- ・農免道路が全線完成する。
- ・山東町誌上巻ができる。



---

一九八四（昭和五九年）

・国鉄山陰線電化工事が始まる。

・町花を「きく」とする。町民音頭ができる。

・ウツキのヒメハナバチが県の天然記念物に指定される。

・町民憲章が制定される。

・町制三〇周年記念式典が行われる。

・磯部農村広場が野間にできる。

・梁瀬駅の乗車券販売、山東町委託となる。

・郷土資料館が喜多垣にオープンする。

・早田、小谷地区し尿処理施設が完成する。

・但馬学習農園が森にオープンする。

・大阪～城崎間が電化される。

・磯部川に右岸道路が完成する。

・国鉄民営化により、西日本旅客鉄道株式会社となる。

---

一九八七（昭和六二年）

一九八五（昭和六十年）

一九八六（昭和六一年）

---

一九八八（昭和六三年）  
一九八九（平成 元年）

一九九一（平成 三年）  
一九九二（平成 四年）

- 
- ・ 山歳地区し尿処理施設が完成する。
  - ・ 老人福祉センター、町民ホールが完成する。
  - ・ 与布土山村広場が森にできる。
  - ・ 朝来郡クリンセンター朝来事業所が朝来町に完成する。
  - ・ 昭和天皇崩御、ほうぎよ今上天皇即位きんじょうてんのうそくいさる。
  - ・ 西宮市立山東少年自然の家が粟鹿にオープンする。
  - ・ 山東町役場新庁舎が完成する。
  - ・ 山東町民歌「緑の風」ができる。
  - ・ 山東町観光協会ができる。
  - ・ 山東町国際文化交流協会ができる。
  - ・ アメリカ・オレゴン州レイク・オスエゴ高校来町。
  - ・ 特別養護老人ホーム「緑風の郷」きと一品にできる。
  - ・ 山東町誌下巻ができる。

一九九四（平成 六年）

一九九五（平成 七年）

一九九六（平成 八年）

一九九七（平成 九年）

一九九八年（平成 十年）

・ 梁瀬中学校生徒日米友好訪問団として、アメリカ・ウイルソンビル市ウッド中学訪問。

・ 滝田に下排水処理場が完成する。

・ ヒメハナ公園が楽音寺に完成する。

・ 県立南但馬自然学校の施設が迫間にできる。

阪神淡路大震災で被災者の支援活動をする。

上早田町営住宅完成する。

分譲地「百合山団地」建設される。

県立但馬やまびこの郷開校する。

防災無線全戸にできる。

北近畿豊岡自動車道工事始まる。